



Oracle Forms Statement of Direction (方向性)



2025年1月、ドキュメント・バージョン3.0 Copyright © 2025,
Oracle and/or its affiliates 公開

免責事項

本文書には、ソフトウェアや印刷物など、いかなる形式のものも含め、オラクルの独占的な所有物である占有情報が含まれます。この機密文書へのアクセスと使用は、締結および遵守に同意した Oracle Software License and Service Agreement の諸条件に従うものとします。本文書と本文書に含まれる情報は、オラクルの事前の書面による同意なしに、公開、複製、再作成、またはオラクルの外部に配布することはできません。本文書は、ライセンス契約の一部ではありません。また、オラクル、オラクルの子会社または関連会社との契約に組み込むことはできません。

本書は情報提供のみを目的としており、記載した製品機能の実装およびアップグレードの計画を支援することのみを意図しています。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料にするものでもありません。本書に記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、オラクルの裁量により決定されます。製品アーキテクチャの性質上、本書に記述されているすべての機能を安全に組み込むことができず、コードの不安定化という深刻なリスクを伴う場合があります。

目次

免責事項	2
はじめに	4
Oracle Formsの現在のバージョン	5
推奨事項	6
Oracle Forms for Oracle Cloud Infrastructure	6
Oracle Formsの今後のロードマップ	7
オラクル・パートナー	7
結論	8

はじめに

Oracle Formsは、40年間にわたり、Oracle Database向けのエンタープライズクラスのアプリケーションを作成するために世界中でもっとも広く使用されてきたアプリケーション開発ツールの1つです。Oracle Fusion Middlewareファミリー内の製品/テクノロジーであるOracle Formsは、主としてOracle Forms DeveloperとOracle Forms Servicesという2つのコンポーネントで構成されています。

ビジネス・アプリケーション開発者は、Oracle Forms Developerを使用することで、宣言型高速アプリケーション開発（RAD）環境で、Javaコードを一切記述することなく、包括的なJavaクライアント・アプリケーションを迅速に構築します。これらのアプリケーションは、豊富なユーザー・インタフェースを備えており、3層アーキテクチャにデプロイされ、大量のデータの迅速な処理と、複雑な計算、分析、トランザクションの迅速な完了を目的としてオンデマンドで使用できます。この開発環境には、ウィザード、組込み機能、ドラッグ・アンド・ドロップ・レイアウト設計などの強力な宣言型機能が用意されています。アプリケーション開発者は、Forms Developerを使用し、最小限のコーディング（“ローコード”）を使用して短時間でデータベース定義からフル機能アプリケーションを作成できます。また、Oracle Formsには、Javaを使用してアプリケーションを完全にカスタマイズおよび拡張できる、オープンかつ拡張可能なクライアント・ユーザー・インタフェース・モデルも用意されています。

Oracle Forms Servicesには、Oracle WebLogic Server Infrastructure環境でOracle Formsアプリケーションをデプロイするために必要なすべてのコンポーネントが用意されています。Oracle Forms Servicesの組込み機能には、トランザクション管理、レコード・キャッシュ、レコード・ロック、例外処理などが含まれます。また、それがなければ開発者がアプリケーションのすべての部分にわたってコーディングと再コーディングを何回も手動で行わなければならない重要なインフラストラクチャも用意されています。さらに、用意されている統合機能を使用することで、Oracle Formsアプリケーションを他の製品やテクノロジーに接続する作業も簡単になります。

Oracle Formsは、以下のような多くのオラクル製品においてコア・コンポーネントであり続けます。

- Oracle E-Business Suite
- Oracle Utilities
- Oracle Retail
- Oracle Life Sciences
- Oracle Hospitality
- Oracle Insurance

Oracle Formsの現在のバージョン

Oracle Forms 14c (14.1.2.0) は、Oracle Fusion Middleware (Oracle FMW) 14cテクノロジー・スタック内の他の多くのコンポーネントとともに2024年12月にリリースされました。Oracle FMW 14cの一部として提供された多くの改善に加えて、Oracle Formsには特に、多くの新機能と機能強化が含まれます。Oracle Forms 14cに含まれる更新により、旧式のアプリケーションの外観を最新化できるだけでなく、パフォーマンスを大幅に向上させることができ、より簡単に管理できるようになります。

14cの新機能には以下が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 実行時ユーザー・インタフェースの広範囲にわたる改善
- REST統合
- 連続問合せ通知のサポート
- ブロックのソート
- イメージのサポートの改善
- Oracle Forms Standalone Launcherの改善
- Oracle Form Builderの生産性の改善
- 実行時の動作を簡単にカスタマイズするための新しいアプレット・パラメータ
- 新規および強化されたオブジェクト・プロパティ
- 新規および強化されたセキュリティ機能
- 診断機能の改善
- 新しいインストール・オプション
- 新しいJavaバージョンのサポート
- 新しいオペレーティング・システムのサポート
- Oracle Identity and Access Managementを使用したサポート

現在のリリースでの機能強化の詳細については、Oracle.comの[Oracle Formsドキュメント・ライブラリ](#)および[Oracle Forms製品ページ](#)を参照してください。

サポートの可用性の詳細については、[Fusion Middlewareライフタイム・サポート・ポリシー・ガイド](#)を参照してください。

推奨事項

アプリケーションを直前のリリースから最新バージョンにアップグレードする方が、かなり古いリリースから最新バージョンに移行するよりはるかに簡単です。したがって、新しいバージョンが使用可能になってから1年以内に（またはできるだけ早く）最新リリースにアップグレードすることを推奨します。

現在のリリースより古いバージョンのOracle Formsのユーザーは、できるだけ早くアップグレード計画への取組みを始める必要があります。ソフトウェアとアプリケーションの両方を最新バージョンにアップグレードすると、システムのセキュリティ、安定性、およびパフォーマンスの更新と機能を確実に最新の状態に維持しやすくなります。

6.0.8.10（6i）より古いバージョンのユーザーの場合、互換性を確保するため、最新リリースに移行する前に、まずアプリケーションをバージョン10.1.2（10gR2）にアップグレードすることが必要である可能性があります。Forms 6以前からの移行の詳細については、[Oracle Formsアップグレード・ガイド](#)を参照してください。アプリケーションをバージョン11.1.x～12.2.1.xからアップグレードする場合は単に、新しいソフトウェアをインストールし、最新のOracle Form Compiler（またはOracle Form Builder）を使用して、アプリケーションに関連するアプリケーション・モジュールを再生成し、アップグレード・プロセスを完了する必要があります。多くの場合、v11.1以降からアップグレードするときにアプリケーション・コードの変更は必要ありません。

さらに、最新バージョンに移行したら、アプリケーション開発者は、旧式のアプリケーションを強化および最新化するために役立てることができる新機能とテクノロジーを活用することを推奨します。Oracle Formsには、HTMLベースのWebアプリケーションには見られない独自機能が多数用意されています。このような機能の一例として、ブラウザのプラグイン・テクノロジーの段階的な廃止に伴う、Oracle Forms Standalone Launcher（Oracle FSAL）などのブラウザレス・ソリューションへの移行は、ブラウザとJavaプラグインの互換性の維持に関連する問題の克服に役立つだけでなく、アプリケーションのパフォーマンス、安定性、セキュリティの改善に役立てることもできます。

既存のOracle Formsに対する投資をアップグレードおよび最新化することで、エンド・ユーザーがより効率的かつ生産的に作業できるようになります。さらに重要な点は、既存のアプリケーションを保持、最新化、改善することで、他のテクノロジーを使用しているアプリケーションの全面的なリライトに伴う高いコストを回避できます。

Oracle Formsが提供できる範囲を超えるモバイル・ソリューションまたは最新化を求めている組織は、Oracle Formsに対する投資を断念するべきではありません。代わりに、これらの組織は、オラクルの[Visual Builder](#)やAPEXなどの他のテクノロジーを介して必要なデータを公開することで、既存のアプリケーションを拡張することを検討すべきです。ゼロから始めるのを回避するもう1つの方法は、Oracle Formsの操作を専業としているオラクル・パートナーの製品を検討することです。

オラクル・パートナーは、組織が既存のテクノロジーまたは代替テクノロジーを使用してゼロから始めるよりはるかに低いコストでアプリケーションをアップグレード、最新化、準備するために必要になる可能性がある製品とサービスを提供できます。場合によっては、代替テクノロジーを使用することが避けられない可能性があります。多くの場合、必要なのはアプリケーションの改善だけです。これは最新のFormsリリースを使用すれば簡単に実現できます。

Oracle Cloudを活用したい組織の場合は、Oracle Forms環境用にOracle Cloud Infrastructure（OCI）を使用することを検討してください。アプリケーションのデータベース上のニーズを満たすには、Oracle Database Cloud Service（Oracle DBCS）またはOracle Autonomous Database（Oracle ADB）を検討してください。ソフトウェアをインストールおよび構成するために必要な時間と労力を回避するには、Oracle Cloud Marketplaceからのみ入手可能な[Oracle Forms for Oracle Cloud Infrastructure](#)を使用することを検討してください。詳細は以下のとおりです。

Oracle Forms for Oracle Cloud Infrastructure

Oracle Cloud Marketplace内のOracle Forms VMイメージは、OCIでOracle Forms環境を迅速にプロビジョニングできる、すぐに稼働可能なVMイメージです。OCIにOracle Formsイメージをデプロイすることで、Oracle Formsアプリケーションを開発、テスト、デプロイするための時間とコストを劇的に削減できます。

<https://cloudmarketplace.oracle.com/marketplace/app/OracleForms>

クラウド・コンピューティングが現在のIT環境の重要な一部である状況で、オラクルは、Oracle Forms製品とそのお客様に対してOracle Cloudが実現できる将来性を調査しています。Oracle Public Cloud内でOracle Formsを使用すると、ハードウェアのアップグレードとメンテナンスの一般的なコストを削減することで、大幅なコスト削減を実現できます。

Oracle Formsの今後のロードマップ

オラクルは、Oracle Formsに対する取組みを続けています。新しいリリースが計画されており、新機能とその他の改善が検討されています。以下の機能強化の一部やその他の機能強化を組み込むために新しいリリースが計画されています。正確にどの新機能が含まれる可能性があるかは、市場の需要、提供の実行可能性、オラクルのビジネス上の意思決定によって異なります。可能性のある改善の例をいくつか以下に示します。

- RESTのサポートのさらなる拡張
- 新しいユーザー・インタフェース（UI）の改善の継続的な提供
- ブロック・フィルタリング
- ベクトルやユビキタス検索などのDB23 AI機能との統合
- Builderの改善
- パフォーマンスの改善
- 新規および強化された項目プロパティ
- Forms Standalone Launcherの改善
- 管理の改善（Fusion Middleware Control）
- さまざまなオラクル製品およびテクノロジーとの新規および改善された統合
- セキュリティ機能の強化
- 新しい構成オプション
- Oracle CloudにおけるFormsのオプションのプロビジョニングの改善
- 新しいJavaバージョンのサポート
- 新しいオペレーティング・システムのサポート

オラクル・パートナー

オラクルは、オラクル・パートナーと密接に連携し、可能性のあるモバイル・ソリューションや他の最新化ソリューションについて、およびこれらをOracle Formsのお客様に適用する方法について調査し続けます。Oracle Formsなどのテクノロジーを専業としているオラクル・パートナーには通常、インストール、アップグレード、アプリケーション開発を長年行ってきた経験があります。オラクル・パートナーは、これらのタスクのうち1つ以上を実行するために必要なスタッフがお客様自身の組織内にいない場合に特に、優れたリソースとなります。

Oracle Partner Networkの詳細については、<https://www.oracle.com/partnernetwork>を参照してください。

最新の情報とダウンロードについては、[Oracle.com](https://www.oracle.com/forms)のOracle Formsを参照してください。

結論

Oracle Formsは成熟したアプリケーション開発テクノロジーであると言っても差し支えありませんが、世界中の多くの組織によって幅広く使用され続けています。オラクルがこの製品への取組みを続けていることは、今後何年にもわたって更新が計画されることを意味します。Oracle Cloud内でFormsを使用する機能は今や、Oracle Cloud Marketplaceでの可用性の発表に伴い、格段に簡単になりました。この製品を改善し、将来のイメージを開発する計画も予定されているため、Oracle Cloud内でのFormsの使用は、あらゆる組織のロードマップに組み込まれる必要があります。

Connect with us

+1.800.ORACLE1までご連絡いただくか、oracle.comをご覧ください。北米以外の地域では、oracle.com/contactで最寄りの営業所をご確認いただけます。

 blogs.oracle.com  facebook.com/oracle  twitter.com/oracle

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

本デバイスは、連邦通信委員会のルールに基づいた認可を未取得です。認可を受けるまでは、このデバイスの販売またはリースを提案することも、このデバイスを販売またはリースすることはありません。

OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0120

免責事項：本書にこの免責事項の記載が必要かどうか分からない場合は、収益認識方針を参照してください。本書の内容と免責事項の要件についてさらに質問がある場合は、REVREC_US@oracle.com宛てに電子メールでご連絡ください。